下関市立美術館
Choryu 「潮流」
Shimonoseki City Art Museum
No.140/Spring.2024

下関市立美術館・下関市立歴史博物館共同企画展

菊舎

旅と友を愛したひと

▶「かへるには」句漢詩画（長府にて・博物館展示）

郷土ゆかりの田上菊舎（たがみ・きくしゃ　1753～1826）を紹介する展覧会が、下関市立美術館と下関市立歴史博物館の2館で同時期に開かれます。

田上菊舎は下関市豊北町田耕出身の江戸後期の俳人で、書画、茶の湯、弾琴と諸芸に通じ、各地を行脚して広くその名を知られた郷土の先賢のひとりです。北は松島から南は阿蘇や長崎まで、40年余にわたり旅した距離は2万2千キロにおよび、江戸時代で最も旅した女性と言われています。

▶「飲中八仙」戯画題（京都にて・美術館展示）

一方で、菊舎は旅に明け暮れながらも、ふるさととの人々とのかかわりを絶やしませんでした。晩年の菊舎は家族が住まう長府に落ち着き、郷土ゆかりの作品を多く遺しました。

このたびは、市内の個人所蔵家のコレクションから、美術館では「旅」をテーマに、博物館では「ふるさと」をテーマにして、計百点余りを展観し、菊舎の旅路、そして故郷の人々との交流の軌跡をご紹介します。

—旅編— 下関市立美術館

2024年6月7日(金)—7月15日(月・祝)

観覧料：一般500(400)円／大学生 400(300)円

※( )内は平日料金。

▶「かほり流す」句画（石清水八幡宮にて・美術館展示）

—ふるさと編— 下関市立歴史博物館

2024年6月7日(金)—7月21日(日)

観覧料：一般210(160)円／大学生 100(80)円

※( )内は20名以上の団体料金。

▶「磨く晴や」句画（長府にて・博物館展示）

【共通】

- 開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休 館 日：月曜日（ただし最終日の7月15日は開館、博物館は7月16日振替休館）
- 観覧料の減免

※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※下関市内在住の65歳以上の方は半額。（10円以下切捨）

※減免を受けるには公的証明書の提示が必要。

令和4・5年度
新収蔵品紹介

令和4年度に15件（寄贈13件、寄託2件）、令和5年度に69件（寄贈57件、寄託12件）の美術作品・資料を収集しました。下関やその近郊に繋がりを持つ作家を中心に、近年は写真や工芸作品の収集が充実してきました。

昨年度は、田崎廣助の油彩画、中西利雄の水彩画から、令和3年度に当館で特別展を開催した写真家野村佐紀子の展覧会出品作、そして北九州市立美術館での個展が記憶に新しい石井勢津子のホログラフィ・アートなどが収集されました。

今年度、日本画では狩野芳崖、大庭学僊、高島北海などの作品の寄託を受け、地元に縁のある作家のラインナップがさらに充実します。洋画では、教職の傍ら下関で創作した名井玲の《家族》と《日月》。前衛的な活動で知られた森山安英の油彩画《幸福の容器04》は、北九州を拠点とする作家本人から、春元茂人の油彩画2点とともに収集しました。平野遼と堀晃の油彩画は、寄託から寄贈になりました。長年美術館友の会の理事を務め、昨年7月に逝去された故・和仁皓明氏の遺族から寄贈を受けた宮崎進、香月泰男、山口長男、難波田龍起、李禹煥、川野裕一郎など7点は、比較的小振りながら、それぞれの作家の持ち味を示す優作です。彫塑では、中野四郎の木彫とブロンズの作品2点。温かみを感じさせる木彫の《雲雀》は、作家の初期の作風を留めるとみられ、貴重です。昨年6月に逝去した、写真家吉岡一生の《下関・二基の灯台》シリーズも収集されました。

目を引く件数となったのが、赤間関硯です。近世から昭和20年までに下関（旧名赤間関）で作られたもので、「天下一」の銘を持つ江戸時代の大森土佐守頼澄の硯、明治から大正期に活躍した名工大森珏泉堂の超絶技巧の硯も含まれ、今後の硯の展示に奥行きと厚みを加えることが期待されます。今年度企画展を開催した硯作家堀尾信夫から、硯3点の寄託も受け、赤間関硯をそのルーツから辿ることのできる作品群が形成されつつあります。

1 笹山惟傳《龍門鯉魚図》
2 宮崎進《女》
3 森山安英《幸福の容器04》2011年
4 春元茂人《作品21》2008年
5 吉岡一生《下関・二基の灯台》より「六連島灯台」2020年

1

2

3

5

4

大森土佐守頼澄《甜瓜研（天下一）》17世紀（江戸時代）

大原子保父《大黒研》18世紀（江戸時代）

美術資料区分別件数一覧　（令和6年3月31日見込み）

分類	寄贈	寄託	購入	保管転換	計
日本画	185	71	148	25	429
洋画	210	36	151	28	425
水彩・素描	151	10	27	1	189
版画	218	3	553	0	774
彫塑	203	0	34	1	158
工芸	123	56	97	0	356
写真	54	1	6	0	61
書	3	0	0	0	3
資料	133	23	8	2	166
合計	1,280	200	1,024	57	2,561

下関市立美術館 開館40周年記念行事

1983 2023

所蔵品展No.161「開館40周年記念名品選」
2023年7月15日(土)～8月27日(日)

建築さんぽ（所蔵品展No.162 関連催事）　A
9月18日(月・祝)

開幕40周年記念式典
11月18日(土)
祝賀記念演奏　地歌箏曲「尾上の松」　B
館長による記念講座
協賛ブース出展（ボートレース企業局・考古博物館）　C・D
映像制作プロジェクト 完成披露会（東亜大学芸術学部連携企画）
記念グッズ配布（キーホルダー、タオル）（ボートレース企業局）

特集展示「美術館の40年の歩みから」　E
11月19日(日)～12月3日(日)

開館40周年記念特別展
「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展―天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女―」　①
11月19日(日)～2024年1月21日(日)

プレイベント「新・山本二三展とアニメーション美術の解説会」
9月17日(日)　ドリームシップ視聴覚室

プレイベント「コンサートから展覧会へのいざない」
9月30日(日)　市民会館中ホール

東亜大学連携企画 トークイベント「アニメーションについて語る」
12月9日(土)　Zoom

ワークショップ「くるくる紙人形とクリスマスカードをつくろう」
12月23日(土)

画家・石山義秀 風景を描く～トークと実技
2024年1月13日(土)、14日(日)

開館40周年記念特別展
「狩野芳崖、継がれる想い――悲母観音からはじまる物語」　②
2024年2月6日(火)～3月17日(日)

記念グッズ配布（キーホルダー）（ボートレース企業局）　F
2月6日(火)ほか

アーティスト・トーク
2月11日(日・祝)　四宮義俊
2月24日(土)　坂本英駿　G

担当学芸員による美術講座
2月18日(日)　第1回 狩野芳崖について
3月10日(日)　第2回 狩野芳崖の弟子たちについて

スライドトーク（すわって展示解説）
2月13日(火)、17日(土)、27日(火)、3月9日(土)

ギャラリートーク（まわって展示解説）
2月13日(火)、17日(土)、27日(火)、3月9日(土)

造形教室「芳崖筆法講座」　講師 坂本英駿
2月25日(日)

歴史×エンターテイメント　狩野芳崖コンサートin蛍遊苑
3月3日(日)

A

B

①

E

C

D

F

②

G

報告

■ブックカフェをしました

1月13日(土)～19日(金)

来館者の休憩スペースとして活用されている喫茶室で、期間限定のブックカフェを実施しました。新下関に今年秋に開業するブックホテル「ねをはす」のデザインプロデューサー浜井弘治氏らによる企画で、美術書などを含む約250冊を卓上などに配置し、訪れた人にコーヒーなどを提供。本とアートのあるくつろぎの場所として、期間中のべ474名が利用しました。

■デザインシャレット～キングストン大学＋山口大学 下関研修プログラム

2月12日(月･祝)～16日(金)

イギリス・ロンドンにあるキングストン大学の芸術学部建築修景学科と山口大学大学院の建築学専攻の学生が下関市立美術館で研修。初日は長府城下町や美術館の事業について調査を行い、美術館講堂でワークショップを実施しました。そしてアートを媒介とした地域づくりの方法について討論と作業を進め、新しい美術館像をイメージしたパビリオンの模型を作成しました。最終日には研修の成果の発表を行いました。

■屋外彫刻のメンテナンスをしています

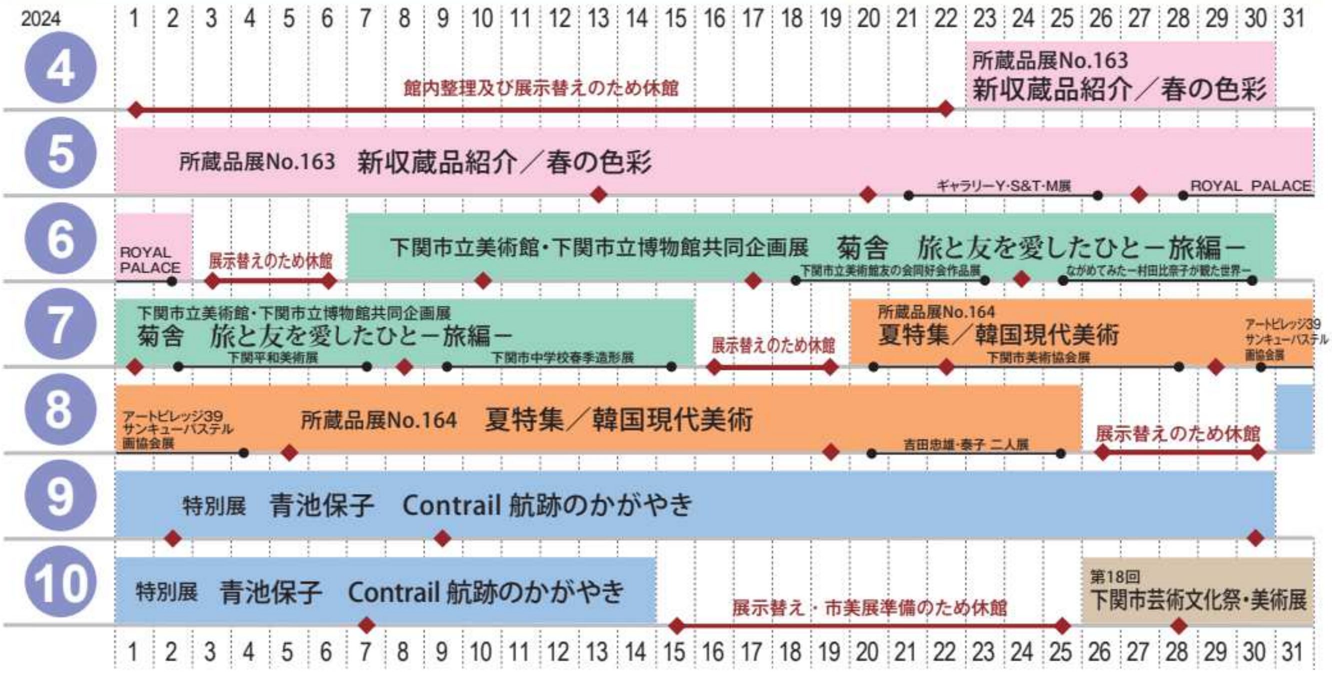
ふるさとしものせき応援基金を活用して、現在屋外彫刻のメンテナンスをすすめています。海風や排気ガス等にさらされた屋外彫刻は目に見えないところでも劣化している恐れがあります。このたびは、エックス線調査、目視調査のほか、ブロンズ作品の洗浄補彩、ステンレス作品の磨きや再塗装など安全安心なアート空間を維持するためのメンテナンスのほか、古くなった案内板も更新します。

■藍を育てています

3月2日(土)に実施した造形教室「藍染めコトハジメ」に際して、美術館庭園で、土を耕し、藍染めのための藍を植えました。写真は、耕作中の様子です。講師である染色家の揚野純子氏の指導の下、土を掘り起こし、畝を作りました。春に植えた種は、夏には葉が収穫できます。美術館にお立ち寄りの際には、ぜひ見にいらしてくださいね。

下関市立美術館展覧会スケジュール(4月～10月)

会期・展覧会タイトルが変更になる場合があります。 ◆ 休館日



「潮流」140号／令和6年3月25日発行
■発行／下関市立美術館　〒752-0986下関市長府黒門東町1-1　TEL.083-245-4131
https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/
■印刷／株式会社ナカハラプリンテックス